

# 秋 歯 技

発行  
No.71  
令和3年3月5日

一般社団法人  
秋 田 県  
歯 科 技 工 士 会  
広 報 部

## 年頭のごあいさつ

会長 今野

悟



昨年発生  
した新型コ  
ロナウイル  
スの収束を  
見ずに新し

い年を迎えてしまいました。

新型コロナウイルス感染症が世界中に混乱を招き、未だに収束する気配が見えません。感染者が増え続け数多くの犠牲者が出ていることにお見舞いとお悔やみを申し上げますとともに一日も早い収束を願っております。

このために計画していた行事がほとんど行われずに、会員の皆様にはご迷惑また物足りなさを感じさせたことにお詫びを申し上げます。

第三波が訪れ、首都圏等では緊急事態宣言が発令されています

が、テレビの映像を見る限りでは、銀座や渋谷などの人通りは多くて、コロナ慣れしているのか、危機感が薄れているのではと思われまます。他県に比べると、本県の感染者数は、桁違いに少ないので、その分緊張感があるような気がします。

歯科医療の現場でも、マスクや消毒液等の衛生用品がなかなか手に入らず、それでも患者さんの受診を制限したり、訪問診療を控えたりして対応してきたと思えます。歯科医療を通して患者さんへの感染や院内クラスター等の事例は聞かれず、いかに感染予防対策

を徹底していたかが伺われます。

昨年日技創立65周年でしたが、各表彰者への授与式も中止となり、本会の理事会もリモートで行うようになりました。初めは抵抗がありました。いがやってみますと意外にいけるもので、今後これのできるのであれば、というような気持ちになりました。今の時代だから出来る事をウイズコロナが加速させてくれたものだと思います。

昨年十一月二十一日に、大日向均前会長が逝去されました。昭和五十八年から秋田県歯科技工士会の理事になり、その傍ら県南支部の支部長も兼任されました。そして、平成八年第九代年秋田県歯科技工士会会長に就任され十二年務められました。その後活躍の場を日本歯科技工士会に移し八年間、理事や総務、監事の役職を歴任されました。また、東北ブロックにおいても平成十五年からブロック長として平成二十六年まで十二年間務められ、こんにちの歯科技工士会を創る上で、大きな

役割を果たしてこられました。

長年に渡り、歯科技工士会に貢献していただき、誠にありがとうございます。生前の姿を偲び心よりご冥福をお祈りいたします。

コロナ禍が収束し、安心して笑える日々が取り戻せるよう、皆様にとりまして幸多き一年となりますようお祈りいたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



# 秋歯技六十六年を想う！

新年おめでとうございます。

今年秋田県歯科技工士会創立66年目を迎える年に当たります。

私の生涯の生活費の基盤となった歯科技工は、大変な労働と体力が必要でありました。

物作りの楽しさと合わせて「入れ歯づくり」は人間の生命延長として長寿社会に貢献してきたことの自負もあります。

今でも続く肘痛や肩痛など、そして時々仕事に追われる夢を見ることがあり、歯科技工との関わりを実感する対価です。

昨年はコロナ禍のなかで私の時間のほとんどは、「仕事がなくなつた」、「収入が大幅に減つた」などの人達や秋田大学や高専のベトナム留学生の生活支援や給付金申請援助、各種税金減免申請援助に追われておりました。

そうした折の11月21日前会長で日技の役員を務めた大日向均さんの逝去の報に触れました。

私にとっては、友人であり同僚であり、歯科技工士学校の同窓生でもありました。

夏ごろ電話で近いうちに一緒に食事を約束していたのに果たせずショックでした。

秋田県歯科技工士会のなかで5年以上会長を務めたのは現会長と大日向さんと私の3人です。

仕事と会務を両立させることの大変さ、歯科技工業と会員を思う犠牲的精神を発揮しないと出来なからです。

日技代議委員会、技工料の直接請求問題や年金基金の明細について執行部に迫つた大日向さんの姿が鮮明に浮かびます。

秋田県歯科技工士会の歴史を見ると会発足当時は、業務についている人たちに資格を与える「特例歯科技工士試験」を受講し資格を取るための運動が主流でした。

資格試験で127名が合格した後の数十年間は、本部での学生改

革運動があつたものの、秋田では会員交流が中心の懇親会でした。

その後は東北ブロック会議開催などの行事はありましたが、

1979年（昭和54年）歯科技工まつり以降に県技共済制度や会員拡大の必要性が感じられ、平成に入り歯科医師会との定期協議や社団法人化実現となり、歯科医師会との技工料金の合意書も実現となりました。

こうした背景のもとで会員以外の歯科技工士にも呼びかけ組織拡大となつていきました。

私が会長を引き受けて間もない頃、初代会長の石川兼光氏を何度か訪問しました。最初はなかなか取っ付きにくい頑固者のように思

える人でしたが、何回か通うなかで技工所の隣の部屋には囲碁盤を

おいてあり、時には近所の囲碁仲間と囲碁盤に向かいながらの会話でしたが、「技工技術を高めるための集まりでないダメ」・「業権

の拡大には運動が必

要」と、あまり期待していないよ

うな一言で教わりました。

また2代目と6代目会長を1年間ずつ務めた寺岡末治氏からは歯科技工業が社会に認められるように「法人化」してほしい、と託されました。

お陰で秋田県歯科技工士会を彩る8名の会長や多くの役員の話聞きながら30年間歯科技工士の県技・日技役員を務めさせて頂いたことに感謝を申し上げ66周年をお祝いしたいと思います。

また早いコロナの収束を願って皆さんとお会いできることを期待しております。

（奈良 知）



ありし日の大日向前会長

# 秋田県の歯科技工士の年齢構成

今年、歯科技工士業務従事者届出の実施年だ。「業務に従事する」歯科技工士は、法令の規定により、隔年の12月31日現在の氏名、住所、就業地等の事項を、「就業地」の保健所に1月15日までに届け出ることが義務付けられている。

前回の平成30年12月31日現在の統計によれば、秋田県の就業歯科技工士総数は、男326人女39人計365人となっている。

表にある通り、25歳未満が男3女4計7、25～29が男7女2計9、一方50～54は男40女10計50、55～59は男67女8計75、60～64は男59女6計65、65歳以上は男46女2計48となっている。若手の歯科技工士が極めて少数であり、高齢化がすすんでいる。次回発表される統計がどんな傾向を示すかが注目される。

秋田県は全国第一位の超高齢化県であり人口減少県である。歯科技工士も同様の傾向を示している

とみることもできる。また、県内という限定された歯科技工市場においては、先行し占有した高齢者がおり、若手の参入が困難であるとの見方も可能かもしれない。

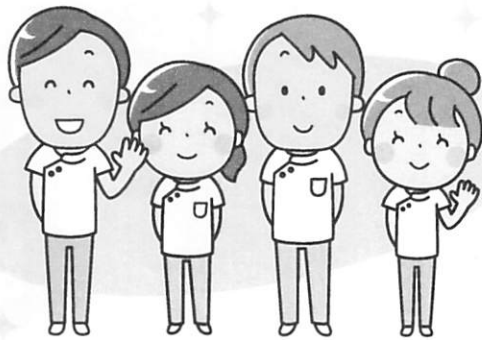
秋田県歯科医療専門学校は、志願者・入学者の減少等もあり平成20年(2008年)に歯科技工士科を閉科した。隣県の岩手医科大学歯科技工専門学校と東北歯学部附属歯科技工士学校も募集停止となった。これらにより、県出身者の歯科技工士が減少し、県内の歯科技工士の新陳代謝が緩やかになったとの見方もあり得る。

歯科技工士の養成問題に関しては、過去のピーク時の養成数・入学者数との対比での「減少」が話題とされているが、人口10万人あたりの就業歯科技工士数や歯科医師一人あたりの歯科技工士数等での検証が必要だ。平成30年の全国の人口10万人あたりの就業歯科技工士数は27・3であり、秋田県は

37・2だ。全国の歯科医師数は104,908であり、歯科医師一人当たりの歯科技工士は0・32だ。秋田県の歯科医師数639であり、歯科医師一人当たりの歯科技工士は、0・57だ。

しかし、県内の歯科技工士の年齢構成のアンバランスは明らかであり、新規の歯科技工は広域で対応したとしても、修理などに対しては地域内で対応することが困難になるかもしれない。

(岩澤 毅)



秋田県 就業歯科技工士 平成30年12月31日現在  
第117表 就業歯科技工士数(性・年齢階級別)から作成

区分	総数	25歳未満	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳以上
男	326	3	7	14	26	28	36	40	67	59	46
女	39	4	2	8	14	27	12	10	8	6	2
計	365	7	9	22	40	55	48	50	75	65	48
%		1.9	2.4	6.0	10.9	15.0	13.1	13.6	20.5	17.8	13.1

出典：「平成30年秋田県衛生統計年鑑」

# 種苗交換会技工フェア

昨年(2019年)の10月30日～11月3日まで  
の5日間、横手市にて第143回  
種苗交換会が開催されました。

技工士会でもブースを出展し、  
模型、パネル展示、手形取り等を行  
いました。

今回は新型コロナウイルスの影響で、  
日程も7日間から5日間に短縮され、  
検温検査、マスク着用の義務付けの中  
での開催でしたが、天候にも恵まれ来場者も  
多く、40数名の手形取りを行うことが出  
来ました。

子供たちへのプレゼント用の石膏  
模型や消しゴムも人気が高く、  
今回の技工フェアも成功したと思  
います。



最後に助っ人に来てくれた他の  
支部の方々、ありがとうございました。  
（佐々木 修）

# 支 部 だ よ り

## 【中央支部】

新年明けましておめでとうござ  
います。令和2年の中央支部の活  
動報告です。

しかしながら、昨年は新型コロ  
ナウイルス一色により行事とい  
う行事は何もできませんでした。

唯一県の事業ではあります  
11月1、3日横手市で開催され  
た種苗交換会へ中央支部から数名  
手型採取の協力に行ってきました。

毎年恒例の忘年会に関しては、  
全国的にも秋田県は感染者が少な  
く10、11月頃に一時期コロナが収  
まりつつあったので、私的には開  
催したいなあと思う反面、万が一  
の事を考えるとやはり開催するべ  
きではないのかなあとの葛藤があ  
りギリギリまで悩んだ末、残念な  
がら中止にする事にしました。

12月末現在では全国的に第3波  
で感染拡大、変異種、秋田県内  
でもまたクラスターが発生したりと  
日々状況が変わっていつています。

今年中に終息するのかわかり  
ませんが感染対策をしつかりし、  
コロナ禍でストレスを溜めぬよう  
過ごしていきたいでしょう。

研修会やその他の行事を楽しみ  
にされていた皆様には大変申し訳  
ありませんが、昨年はコロナによ  
り何もできずに一年経過してし  
まった事をご理解得られれば有難  
く思います。

今年は早く普段通りの生活に戻  
れる事を願って無事行事を行えた  
らいいなと思います。

このような時期で企画を立てる  
のも時間がかかるかもしれませんが、  
その際はご協力の程お願いします。  
それでは今年もよろしくお願  
いします。  
（高橋 和文）

## 【県南支部】

明けましておめでとうござい  
ます。何とも言いようのない  
2020年でした。

「新型コロナウイルス」感染により、私たちの日常がこんなにも窮屈になり、当然ながら支部活動のほとんどが中止となりました。これがいつまで続くのか？

そんな中、11月21日に大日向さんが亡くなったとの訃報に接し大変ショックを受けました。歯科技士として最後まで仕事を全うし、なによりも長年にわたり技士会のために尽力してこられました。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

2021年寒波の襲来がほどほどであることを願い、どれくらい支部活動が出来るのかわかりませんが、早く社会の歯車が絡み合ってくれることを期待し、今年がよい年になることを願いたいと思います。

(富樫 正行)

## 【能代山本支部】

今年も宜しく願います。

毎年恒例となっていたレクリエーションの「能代の花火」は、新型コロナウイルスの影響で中止となり、介護施設への入れ歯ケー

スの贈呈も施設への出入りがかなり取りやめにしました。また、研修会、新年会も取りやめました。全国から見れば秋田県はコロナウイルス感染者が少ない方ではありませんが、能代保健所管内でも少しづつ出てきておりハラハラしています。

昨年十一月に前県技会長の大日向均氏の訃報を聞いて驚きました。大日向さんとは、突然「県の理事をやってくれませんか」の電話を頂きそれからお付き合いに成りました。平成十四年に行った「白神山地観察会」では登頂までにはいろいろ大変なことがありましたが、大日向さんとのいい思い出となりました。また、パソコンにも強くパソコン初心者の私にも詳しく教えてくださいました。お会いするたびに笑顔で優しく接して下さり感謝の気持ちでいっぱいです。

まだ若くしてご逝去された大日向均氏に心からご冥福をお祈りいたします。

(飯坂 俊哉)

## 【本荘由利支部】

昨年は予想外の出来事に、大きく予定を狂わされた方も少なからずおられると思います。

支部や県における行事がことごとく中止や延期に追いやられ、時間が止まったかのように何もできていない中、広報の原稿を依頼されたところで、結局はコロナ関係の話題になってしまうのは少し悔しい気もします。

しかし、この機会に会務のデジタル化が加速したのも事実です。今や理事会は全てではないにしても、リモートになりましたし、オンラインでの研修会も企画検討中であります。

更には言えば、秋田からは数年前から議題にあげてきたことですが、東北ブロック会議もリモートで行えるようになれば、労力や予算の削減になるはずなのですが、これに関しては様々な理由から賛否両論があります。

私も本場にITには疎く、相当なアナログ人間ですので設定やら登録やら接続やら、煩わしく思ってしまうのですが、いざ使い始めてみるとやはり便利でその恩恵は

計り知れないものと、実感はしております。

コロナ禍でなかったとしても、いずれは一つの時代の流れとして切り替わっていくものだったのでしよう。

さて、このコロナ禍において、報道で聞こえてくるものはイヤなことばかりで、ウンザリしていました。

今やいつ、誰が、どこで感染してもおかしくない状況ですし、もしも当事者となってしまう時、自身や周辺はどんなに心細く不安なことでしょう。できればこういった方たちには「思いやり」を加えて医療関係者や様々な施設の職員には「敬意」と「感謝」を贈りたいものです。

春以降にはワクチン接種が可能になってくるでしょう。

そうしたら事態も収束し、少しずつでも公私共々、活動を再開できると期待してるところです。皆様、それまで今しばらく努力してまいりましょう。

何しろ、私自身が楽しみにしていた本荘由利支部設立二〇周年記念祝賀会が延期になったままです。

(渡辺 倫史)

# 公益社団法人 日本歯科技工士会法制度 ・ 日技創立六十五周年

公益社団法人 日本歯科技工士会法制度・日技創立六十五周年をむかえて



この度、十一月二十二日に開催予定の記念大会が新型コロナウイルス感染症の感染拡大などを踏まえ、中止となりましたが、この様な折、厚生労働大臣表彰を賜り誠にありがとうございます。今野悟会長はじめ各理事の方々により推せんいただきましたことでのこの度の受賞となりました。本当に有りがとうございました。また勤務者としていただけことが本当にうれしく、歯科技

工士としての誇りに思います。支部活動においても、会員の皆様のご協力とご支援を賜ることが出来ましたこと感謝申し上げます。

これからも歯科技工士として自覚を持ち、微力ながら技工士会が未来に向けてはばたけるよう努めていきたいと思っております。

(酒樹 栄)

## 日技創立六十五周年 記念事業の日技会長表彰を受けて



歯科技工士を目指したのが43年前、当時の入学競争率は6倍強でなかなかの人気でした。

学校の教務に現日技会長の杉岡会長がいて、二年生になってからは授業が終わってからラボで一緒にバイトをしたり北海道を一週間かけて旅行をしたりした思い出を会う度に今でも話しています。

技工士になって41年後に杉岡日技会長から表彰を受けることになるとは思いもよらず大変光栄に感じています。

就職当時、先輩から有無も言わずに歯科技工士会に入会させられ現在に至り、会務に携わっております。

技工の進歩も今では想像できないほど発展して、アナログな自分はどうにかついていくのがやっとです。

無縫金属冠や開面金冠は学校では一通り習ってはいますが実際に作ったことは無かったので先輩たちの職人技には目を見張るものがありました。

それがキャストクラウンになり、前装冠になりましたが前装冠

はサーモレジンで加熱重合なので時間が経つと垂れてくるので形態が変わってしまわないうちに重合してしまわないうちになかったし、しかも重合してから冷めると偶に連結部にクラックが入るのが難点でした。それが、光重合が出てからは画期的に楽になりLEDへと変わってきました。

Pd金属の価格も今では8万(30g)近くになりCAD/CAMへと近年は変化して来ています。

変わらないのが技工料で、私も開業して25年ですが開業当時と大きな違いはありません。適正な価格で受け入れられればもっと技工の環境が楽になると思いつつ流されていくのが現状です。

若い頃は技術の研鑽に励みましたが、それも近年では億劫になりがちではありますが、これからは若い人のため、歯科技工士になる人のために環境を整えて行けるよう会務に邁進したいと思います。

(佐藤 仁)

# 生涯研修

皆様いかがお過ごしでしょうか？

昨年から続く社会情勢により、残念ではありましたが生涯研修は全て中止とさせて頂いていただきました。

今後はリモート等、状況に応じた開催を目指しているところですので。ご理解をいただきたく存じます。

さて、雪国の宿命である大雪はどんな状況でしょうか？昨年の同じ時期と比べると：運動量が：。朝の除雪車で目覚め、雪かきをして仕事場へ。雪降る冬は体が少し、締まる、気がしています。

愛用の長靴は先芯入りで保温も Good！またケブラー繊維の入ったスパイク付き長靴も併用していて、皆さんにもおススメです。スノーダンプは「吉鉄」。鉄製でサイズが大小あります。中と小を使い分けて奮闘しています。多少重いのが難点ですが雪への食いつきは抜群です。

ほんの数か月の雪暮らしです

が、準備を怠らず過ごしたいものです。

皆様お身体ご自愛くださいませ。

(福士 省治)

## 学術からのお知らせ

本年一月一日より、リモートで行われる研修会も、日技生涯研修に認定されることになりました。

この度、生涯研修に対するアンケートを同封しております。技工のことに限らず、幅広い方面の研修も視野に入れておりますので、ぜひご協力お願いいたします。

尚、ホームページにおいて、過去二〇年の生涯研修のタイトルを掲載しておりますので、ご参照ください。



# 歯科医師会との懇談会

二月二十日午後三時より、秋田県歯科医師会館で、歯科医師会、歯科衛生士会との懇談会が開催されました。

## 協議案件

一、歯科技工士業務内容の見直しについて

歯科技工士の減少する中で、これまでのような技工室(所)内での作業にとどまらず、患者さんと接する機会を増やす、或いは口腔内を見るところといった、チェアサイドでの歯科技工士の立ち位置的なものを見直し、歯科技工士としての仕事のPRや魅力ある職場づくりに繋げたい。との本会の要望に対し、現在の歯科技工加算があるように、チェアサイドの行為についても点数化になるよう中央に働きかけるとの約束をいただいた。

二、若い歯科技工士の加入促進等組織率のアップについて

歯科医院に勤務している技工士、衛生士を入会させるように働きかけるよう要望した。



三、三団体共同による、Web研修の開催促進について

大いに進めていこうと申し合わせた。

四、新型コロナウイルスのワクチン接種について

本広報の最終ページにある、日技からの情報提供に基づき、技工所の技工士も全員優先接種の対象となるよう働きかけ、了承を得た。

## 五、災害歯科保健医療体制研修会について

災害等有事の時、技工士会からも派遣するよう依頼があり、了承した。

## 新型コロナウイルス感染症に 係わるワクチンの接種について（情報提供）

日頃より地域組織の会務運営にご尽力賜り深謝申し上げます。  
標記の医療従事者等の優先接種について、現時点での歯科技工士に係わる情報をお知らせいたします。

■今回の接種は、予防接種法の臨時接種の特例として実施されます。

■よって、接種は、国の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において実施されます。

■接種順位は、当面、確保できるワクチンの量に限りがあることから、接種目的に照らして、

- ① 新型コロナウイルス感染症患者（新型コロナウイルス感染症疑い患者を含む）に直接医療を提供する施設の医療従事者等（約1万人の先行接種及び約400万人の優先接種）
- ② 高齢者及び基礎疾患を有する者
- ③ 上記以外の者については、上記の者への接種の状況を踏まえ、地方自治体からあらかじめ接種券等の配布があり、接種を希望する者は医療機関に予約し、順次接種を行うこととなります。

●現時点の歯科技工士に係わる概要は、下記のとおりです。

- (1) 医療職は様々あることから、同じ職種でも新型コロナウイルス感染症患者（以下、「患者」という。）との接触の頻度は医療機関ごとに異なるため、職種で一律に区切るのではなく、患者と頻繁に接するかどうかという実態の観点で区切る。
- (2) 歯科医療機関に勤務しており、かつ、業務として患者に頻繁に接するのであれば、優先接種の対象になり、委託業者（歯科技工所に勤務する歯科技工士）であっても、歯科医療機関で業務として患者に頻繁に接すると歯科医療機関が判断すれば対象となる。  
※優先接種の希望有無、対象者は歯科医療機関が決めて申請することとなります。
- (3) 逆に、歯科医療機関に勤務・出入りしていても、患者とほとんど接しないのであれば、優先接種の対象にならない。

■このことから、まず、歯科医療機関が優先接種を希望するかどうかにもよりますが、仮に、優先接種を希望する場合は、その医療機関の判断によりますので、ご相談することが必要です。

いずれにいたしましても、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の中で、当面限られたワクチンの接種となりますので、私たち歯科技工士も医療に関わる職種として、趣旨を汲み取り、節度のある対応をしなければなりません。

引き続き、必要な歯科技工士に対する優先接種については、厚生労働省に要望していますので、新たな情報がありましたら改めてお知らせいたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 事務局より



- ☆勤務者から自営者になられた方
  - ☆自営者の方で廃業された方
  - ☆現住所、勤務先などが変更になった方
- ➔必ず事務局にご連絡ください。

（一社）秋田県歯科技工士会 事務局

〒019-2411 大仙市協和境字境26番地

電話・FAX 018-892-2447

E-mail : akisigi@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.akisigi.com/>

(HP担当：県南支部 荒川大祐さん)